

こんにちはわ〜んど

半田国際交流協会だより

No.37

▶書初め



いろんな文字を書きました。

なごやかだ！



▲市長との懇談会

▶子供学習支援



煙が
出てこないので
ビックリ!



▲日本語教室



▲クリーンセンター見学

おしらせ

ケイ山田氏による 『英国式庭園からみえる イギリスの文化』

日時:平成23年3月26日(土)
午後1時30分～

場所:半田市福祉文化会館内
2階 視聴覚室

参加費:会員無料 非会員1000円

定員:90名(申込先着順)

申し込み先:半田国際交流協会事務局

半田国際交流協会総会の案内

日時:平成23年5月6日(金)
午後6時30分～

場所:半田市福祉文化会館内 2階 視聴覚室
総会終了後、記念講演会開催予定



詳細は、半田国際交流
協会事務局まで

暮らしの日本語

★昨年7月から2月27日までの8ヶ月間、愛知県の委託事業で、外国人の生活支援(例:ゴミ分別、買い物、就職面接など)の一環として講座を開催いたしました。



手作り教材で

初めはもっと低いレベルを想定していたのですが、実際の生活では漢字がたくさん使われていて、漢字圏以外の学習者にとっては、かなり難しくなっていました。手作り教材はできるだけ本物に近くしようと考え、市役所、病院、駅などに足を運んで資料を集めました。お陰で会話練習も現実味が出てきました。市長をはじめとする市役所、警察署、消防署の方々と直接話げできたのは、学習者にとって良い体験になったと思います。履歴書の書き方・面接の授業はとて役に立ちました。その後就職出来た人も何人かいます。これからも学習者の要望に合った授業を考えていきたいと思っています。

(講師 伊奈律子)

たとえばこんな例…

病院について学習したとき、病院の利用の仕方についての流れがわかるように、ロールプレイングで受付、診察室、会計、薬局までを練習しました。

簡単な日本語で話すようにすると、学習者のみなさんはだいたい理解できました。でも、医者に病状を説明する場面では、「頭が痛いです。」「どんな風に痛いですか?」というやりとりも、日本人なら、「ズキズキ」とか、「ガンガンと響くような」と答えるでしょう。でも、外国人にはその感覚を理解することは難しく、日本語の会話レベルが高くない学習者は、自分の状態をうまく説明できませんでした。

(アシスタント 山本真由子)

公的機関のサービスを十分に

在住外国人の日本語学習の方向性について、個人的に次の2点に留意する必要があると感じた。まず日本語の教え方として、日常の暮らしの場面ごとのロールプレイングを繰り返すのが効果的な方法の一つであり、これによって、より実践的な会話が身に付くのではないかなと思う。次に外国の人達が、この地に安心して暮らすためには、公的機関のサービスを十分に受けられるようにすべきであり、そのために関係機関が言葉の壁を含めたいろいろな問題を、誠意をもって解決すべきであると思う。

(チームリーダー 大橋信夫)

★多文化共生の地域づくりを目指して、日本人と外国人が協力し合うことがもっと必要だと感じました。

～先生、本当にありがとう～

「暮らしの日本語」の勉強を通して、日本の歴史や文化や地理などを学びました。特に、日本の生活習慣と生活用語を勉強したことは、私にとって大きな助けとなりました。勉強する前は、隣近所のおつきあい、病院、銀行でどんな言葉を使えばいいかわからず、いろんな事が本当に無理でした。

私の息子の彼女は日本人です。彼女が私の家に初めて来た時、私の家族はみんなとても嬉しかったので、中華料理を作って歓迎の意を表しました。しかし、習慣の違いと、私も日本語ができなかったので、少しの誤解がありました。息子が両方に説明してから、「はあ!なるほど」と私たちは理解し合いました。それから私は、日本語と日本の習慣を勉強しようと思いました。ちょうど「暮らしの日本語」講座があり、参加しました。勉強を通してたくさんの日本の習慣を理解しました。そのうえ、優しい先生から日本人の優しさが見え、日本社会を理解しました。先生、本当にありがとう!

私はこのクラスがずっと続いてほしいです。日本へ来た外国人にとって、大きな助けです。(中国:李莉)

まだ日本に来て1年経っていない時、全然半田に知り合いがいなくて、言葉では言えない寂しい毎日を送っていました。ある日、姑さんが半田市報を持ってきて、「ねえ、雁宿ホールは国際交流やってるよ。よかったら行ってみない?」と声をかけてくれました。

たくさん不安を持ちながら協会に行きました。でも、協会の皆さんにとっても親切にして頂いて、不安がすぐなくなりました。そして、「暮らしの日本語」レッスンを受けることになりました。ここで、日本語だけではなく日本のマナーや習慣・風習など、色んな日本の事を教えて頂きました。特にゴミ分別のレッスンを受けた後は、自分も正しくゴミを出せるようになりました。より一層日本に馴染むことができ、とても役に立ちました。ありがとうございます。(中国:周媛媛)

～在住外国人と市長との懇談会～

前々から外国人から要望のあった市長との懇談会が平成23年2月3日(木)に実現しました。参加者は10名(オーストラリア、韓国、スリランカ、中国、ブラジル)でした。

参加者

※中国 女性:

病気になったとき、どう対処して良いのか、どこに行けばいいのか、情報も無く、言葉がわからなくて本当に大変でした。治療の補助金などの大切な情報をもっと知りたいです。(在住13年)

※オーストラリア 男性:

私が最近周りから聞く社会の問題は、学校で外国人の子供たちが、いじめにあっているということです。顔・言語・名前が日本人と違うだけで、子供たちや先生からいじめを受けることを、何とかしないといけないと思います。この問題は子供たちだけではなく、大人社会も同じだと思います。(在住15年)

※スリランカ 学生:

外国人の子供が日本で勉強して、ハイクラスの学校に行くことはとても難しい。外国人の子供のための教育への環境や支援があれば、もっと勉強も良くなるようになると思います。(在住14年)

※中国 女性:

日本語が勉強できてうれしい。市長に会えてうれしい。日本は物価が高いが、住みやすいです。(来日10日目)

※韓国 女性:

日本に来て言葉の問題はとても大きく、日本語教室に参加するようになり、少しずつ日本語が理解できるようになったので、とても感謝しています。困っていることは、働きたいけどなかなか仕事が無いことです。(在住15年)



※ブラジル 女性:

交通の便の悪さに困っている。自分は高齢だから、半田の郊外に住んでいると移動手段が選べないから、もっとバスを増やしてほしい。(在住19年)



※スリランカ 女性:

半田市に住んでいる外国人のもつ問題について、市長とお話することができてとてもよかったと思います。今まで日本各地に住んでみて、一番住みやすい街だと思う。子どもたちが参加できるボランティアも多くていいと思う。ぜひ外国人の子どもたちの問題を聞いてくれる機会があると、母親も子どもたちにとってもいいと思う。(在住15年)

※中国 女性:

我々外国人の悩みに対してたくさん相談に乗っていただき、親切な市長のお陰でとても楽しい1時間でした。またお会いしたいと思います。毎日お忙しいと思いますので難しいのかなと思います。

最近協会の皆さんのお陰で、日本は本当に暮らしやすく良い国だなと思っています。今までお世話になったので、何らかの形で恩返ししたいと思っています。(在住2年)

※中国 女性:

半田市は便利で静かな街。今、週に3回くらい協会の日本語教室に通っている。これからもぜひ続けていきたい。要望は、外国人が就職しやすい環境を作りたいということ、外国人登録をしたときに協会の日本語教室を知ることができるように、きちんと外国人に情報を教えるようにしてほしいということです。(在住7年)

市長からは半田市の在住外国人が住みやすくなるように、いろいろな問題について積極的に取り組みたいと思いますという前向きなお話がありました。また、事前の質問についても後日文章にて回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

クリーンセンターを見学して

2月27日、半田市のクリーンセンターに見学に行きました。クリーンセンターは、半田市で発生したゴミを燃やしてきれいにしてくれる場所です。普通、物を燃やすと煙などが出てくるが、クリーンセンターでは毎日大量のゴミを燃やすのに煙突から全然出てこないの、びっくりしました。クリーンセンターのスタッフによると、そのゴミを燃やして出た熱や灰などをすべてリサイクルするそうです。例えば、熱は隣のプールで使われて、ある生ゴミは肥料になるそうです。僕はカンボジア出身ですが、カンボジアにはこういう立派なクリーンセンターがありません。毎日

出る生活のゴミは、適当に庭や家のまわりに捨てています。そして、首都プノンペンにはゴミの山があり、きちんと処理されずに積みあげられています。とても不衛生です。早くカンボジアにもそういう施設ができてほしいと思います。クリーンセンター見学後、バスで知多半島をドライブしました。知多半島には、温泉があったり、国際空港があったり、見どころがたくさんあります。今回のツアーは本当に楽しく、参加できてよかったです。今度またこういう機会があったら是非参加したいです。

チャーイ ナット(カンボジア)

TOPICS

第7回

インターナショナルポトラックパーティ開催

平成23年3月6日(日) 半田市福祉文化会館講堂にて開催。
 いろいろな国の人々が、それぞれ自分の国のお料理を持ち寄り、食を通じて在住外国人と市民の交流を深めました。



「世界のお料理」が盛りだくさん
 手作り

♪大きな栗の木の下で♪



書初め大会開催

1月9日、日本語教室にて約30名の外国人が書初めに挑戦しました。「自分の国には筆がありません。筆を使って書くことは楽しいです。『友達』と書きましたが、きたないです。でも、練習して、来年の書初め大会にも参加したいと思います。」と来日4年目のスリランカのチャミさん。また、ネパールのタッ

パーさんは、来日7年目、「書初めは楽しくて、『元気』『友達』とかたくさん書きました。字が上手になりたいです。」と感想を述べていました。



半田国際交流協会にご入会下さい!

会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員 (1口 5,000円)	2口以上
	法人会員 (1口 5,000円)	
	従業員数 1名~29名まで	1口以上
	従業員数 30名~49名まで	2口以上
	従業員数 50名以上	4口以上

申込先:半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)
 TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992
 E-mail:hia@poplar.ocn.ne.jp
 HP:http://www.handakokusai.ecnet.jp